



一般社団法人日本スーパーマーケット協会

平成29年6月 マンスリー レポート

集計企業数 **55** 社

① 売上高・前年同月比

	全 店			既 存 店	
	売上高	構成比(前月)	前年同月比(前月)	売上高	前年同月比(前月)
総 額	54,673,014 万円	100.0%	101.0% (101.1%)	52,593,257 万円	99.3% (99.5%)
食 料 品	46,168,171 万円	84.5% (84.8%)	101.3% (101.1%)	44,766,383 万円	99.7% (99.8%)
農 産	6,894,960 万円	12.6% (12.7%)	98.2% (98.4%)	6,687,157 万円	96.7% (97.1%)
水 産	4,123,661 万円	7.6% (7.9%)	97.4% (98.3%)	3,992,137 万円	95.6% (96.8%)
畜 産	5,782,314 万円	10.6% (10.9%)	104.7% (103.3%)	5,588,189 万円	102.6% (101.6%)
惣 菜	5,262,442 万円	9.6% (9.7%)	103.0% (102.5%)	5,087,914 万円	100.9% (100.8%)
日配食品	10,557,515 万円	19.3% (19.0%)	101.3% (101.0%)	10,249,572 万円	99.8% (99.8%)
加工食品	13,547,278 万円	24.8% (24.6%)	102.1% (102.1%)	13,161,413 万円	100.7% (101.1%)
生活関連	3,616,964 万円	6.6% (6.3%)	98.9% (99.3%)	3,524,795 万円	98.3% (99.8%)
衣 料 品	1,760,728 万円	3.2% (3.1%)	94.9% (99.9%)	1,667,219 万円	93.9% (98.1%)
そ の 他	3,127,151 万円	5.7% (5.8%)	103.2% (103.4%)	2,634,860 万円	97.7% (95.7%)

② 数 値

全店総売上高	54,673,014 万円	店 舗 数	4,609 店舗
総売場面積	9,192,574.4 m ²	総従業員数	248,040 人

店舗平均月商	11,862.2 万円	平均客単価 (前年同月比)	1,841.9 円 (98.8%)
月間m ² 売上(前月)	5.9 万円 (6.4 万円)	平均店舗面積	1,994.5 m ²
月間坪売上(前月)	19.7 万円 (21.1 万円)	パート比率(前月)	77.8% (77.7%)

注) 総従業員数…パート・アルバイト数は、8時間換算しています

《 全体概況 》

- ・ 6月の天候環境について、月間の日照時間は東日本でかなり多く、北日本日本海側と沖縄・奄美では少なかった。降水量は東日本太平洋側でかなり少なく、北日本でかなり多かった。平均気温は西日本で低く、北・東日本と沖縄・奄美では平年並だった
- ・ 梅雨入りは、九州が6月6日、四国から関東甲信が6月7日、北陸から東北が6月21日ごろだった
- ・ 生鮮品の相場状況は、農産物では野菜全体の安値傾向が続き、果実は「もも」や「さくらんぼ」、「うめ」が不作や出荷遅れのため相場が高かった。
畜産物では、国産鶏むね肉がサラダチキン需要の伸びにより価格の上昇が続いている
- ・ 前年と比べ、金曜日が1日多く、水曜日が1日少ない曜日廻りだった

《 商品動向 》

○ 農産

- ・ 「トマト」や「なす」などの夏野菜は好調であった
- ・ 「キャベツ」は買上点数が相場安に追いつかず不調、「アスパラガス」は供給不足のため不調であった
- ・ 旬の「枝豆」「すいか」は好不調が分かれ、「メロン」「もも」「さくらんぼ」は出荷遅れによる供給不足により不調であった
- ・ 「カットサラダ」や「カットフルーツ」といった加工品は簡便ニーズの高まりにより好調であった

○ 水産

- ・ 先月に引き続きアニサキス報道の影響により「刺身」を中心に生食全般が不調であった一方、「うなぎ」や「切身」などの加熱調理品は好調であった
- ・ 水産物では「真いわし」の水揚げ量が多く、販売動向も好調な一方、「するめいか」は不漁による売上不振が続いている

○ 畜産

- ・ 全体的に好調な中、特に輸入牛が好調、ごちそうメニューとしてのステーキ訴求が多かった
- ・ 国産豚の相場が高値傾向にあり、輸入豚の販促を強化する事例が見られた

○ 惣菜

- ・ 「焼きとり」「揚物」「天ぷら」は好不調が分かれる中、「リニューアル商品」や「大型パック商品」は好調な事例が見られた
- ・ 「寿司」は不調であった。水産同様にアニサキス報道の影響が続いている
- ・ 「夏越」にちなんだメニューの取り組みが増えてきている

○ 日配・加工食品

- ・ 気温環境により、涼味関連（チルド麺、乾麺、豆腐、アイス）が不調であった
- ・ 「飲むヨーグルト」や「豆乳」が好調であった。健康志向の高まりによる需要増が続いている
- ・ 「納豆」と「冷凍食品」は好不調が分かれた
- ・ 雨天日が少なく「飲料」や、おつまみの「珍味」「豆菓子」が好調であった
- ・ 汎用性が高い「調味料」が好調であった
- ・ 「カール」の販売中止報道により品薄が続いた

○ 父の日の取り組みと動向について

- ・ 全体では高単価商品が好調であった
- ・ 畜産部門では「ステーキ」の訴求が多く、概ね好調であった
- ・ 水産部門と惣菜部門では「刺身」「寿司」の取り組みとともに、「うなぎ」や「ごちそう弁当」の取り組みが見られた。「刺身」「寿司」はアニサキス報道の影響により不調、「うなぎ」「ごちそう弁当」は好調であった
- ・ 食品部門の「スイーツ」と「酒類全般」の取り組みは好不調が分かれた結果であった

○ サマーギフトの動向について

- ・ サマーギフトは軒並み不調であり、新たな策を講じる必要性に迫られている

○ 酒税法改正（値上げ）後の酒の動向について

- ・ 値上げにより前半はビール類において5～10%程度の売上減影響が見られたが、後半はあまり影響が見られなかった
- ・ ビールの購買動向に変化が見られ、「ケース買い」から「6缶パック」、「6缶パック」から「単缶」へとシフトしている傾向が見られた
- ・ 値上げ幅が小さい「チューハイ」や「ウイスキー」は概ね好調だった

以 上